

## 第1章 第1節 土地利用

### (1)土地利用関連計画の見直し・総合調整(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

計画的かつ高度な土地利用を推進するため、必要に応じて都市計画マスタープランや農業振興地域整備計画などの土地利用関連計画の見直しや、景観形成についての総合調整を行い、土地利用の明確化を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 土地利用関連計画の見直し、総合調整	町	都市計画マスタープランの見直し 緑の基本計画(緑のマスタープラン)の見直し 農業振興地域整備計画の見直し

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

都市計画マスタープラン及び緑の基本計画について、現状に大きな変化がないため、最終年度の平成 32年度に見直しを予定している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

都市計画マスタープラン及び緑の基本計画の改定に向けて、令和元年8月に第1回策定委員会を開催。11月に第2回策定委員会を開催。まちづくりの方向性、まちの緑の解析等について、検討している。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

まちづくりの基本となる都市計画決定を行うためには、都市づくりの総合的指針である、次期都市計画マスタープランの策定は急務。今後の人口減少と超高齢化を踏まえた、都市施設の集約等がまちづくりには重要である。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

公共施設の長寿命化計画を元に、都市施設の集約化を進めるとともに、場合によっては、施設の統廃合を積極的に検討する必要がある。

# 第1章 第1節 土地利用

## (1)土地利用関連計画の見直し・総合調整(産業観光課)

### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

計画的かつ高度な土地利用を推進するため、必要に応じて都市計画マスタープランや農業振興地域整備計画などの土地利用関連計画の見直しや、景観形成についての総合調整を行い、土地利用の明確化を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 土地利用関連計画の見直し、総合調整	町	都市計画マスタープランの見直し 緑の基本計画(緑のマスタープラン)の見直し 農業振興地域整備計画の見直し

### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

農業振興地域整備計画については、経済情勢や農業を取り巻く土地利用状況の変化、第5次総合計画に沿った見直し等を行うため、平成24年に見直し、平成25年5月に計画変更の決定公告を実施した。その結果、農業振興地域の農用地として、前回(1,019ha)の見直しから101haを減し、918haとなった。

今後は、より農用地区域として、保全すべき土地利用と将来的に非農業的な利用をする土地との区分を明確にするとともに、平成27年12月現在、約22ha確認されている耕作放棄地の解消と農業者の高齢化等による新たな耕作放棄地の発生を防止を行っていく。

### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

令和元年9月現在、24.4ha(暫定値)の耕作放棄地が発生している。  
高齢化により営農を断念したり、担い手とのマッチングが整わず、集約・集積化より、耕作放棄地の拡大化が進行している。  
継続的に農地パトロールをしている。

### ②第6次総合計画に向けた残された課題

マッチングの条件の適合しない農地の集約・集積化が必要である。  
営農に結びつかない農地を景観形成のためだけに草刈をしている地域団体の負担増が課題である。

### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

農地利用最適化交付金事業

# 第1章 第1節 土地利用

## (2)適正な土地利用の促進(建設環境課)

### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

土地利用関連法や関連計画、関連制度などの周知と、一体的運用による規制・誘導に努め、魅力ある市街地環境・商業環境の整備や工業立地基盤の整備など、土地利用区分に沿った適正な土地利用を促進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 土地利用の促進	町	各種法令等に基づく調整 土地利用の規制・誘導・適正化

### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成 25 年度に卯坂南部土地区画整理事業が完了し、平成 26 年度に宮津特定区画整理事業が完了した。宮津地区で工業立地を視野に入れた面整備事業を計画している。

### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

平成 25 年度に卯坂南部土地区画整理事業が完了し、平成 26 年度に宮津特定区画整理事業が完了した。市街化区域内の低未利用地の一部地域において、民間開発により新たな住宅地の形成が図られた。宮津地区での工業立地を視野に入れた面整備事業は事業手法の再検討が行われている。

### ②第6次総合計画に向けた残された課題

新たな土地区画整理事業等の気運の高まりが見受けられない。財政基盤の安定を図る上でも、新たな住宅地や工業立地等の産業用地の確保は重要であり、具体的な用地の検討を図っていくためにも、地域住民を巻き込んだ議論を継続して実施していくことが必要。

### ③第6次総合計画における今後の方向性

### ③現状維持

### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第1節 土地利用

### (3)みどりの田園空間の保全(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

町の特徴である阿久比川とその兩岸の田園地帯で形成される「阿久比グリーンハート」の保全など、みどりの空間や景観の保全を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 田園空間の保全	町	田園地帯・みどりの空間・みどりの景観の保全

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

阿久比川とその兩岸の田園地帯をみどりの田園空間(農地)として努めている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

阿久比川とその兩岸の田園地帯をみどりの田園空間(農地)として、市街化編入等を行っておらず、引き続き、みどりの田園空間(農地)として維持されている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

みどりの田園空間(農地)として維持するためには、農業振興地域等として、優良農地を維持する必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第2節 市街地整備

### (1) 土地区画整理事業の推進(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

白沢地区と卯坂中部地区において、関係者の合意を得て事業化を推進します。また、市街化区域内の集団的な未整備・未利用地については利用増進を図るため、土地区画整理事業などを活用し、暮らしやすい市街地の形成を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 土地区画整理事業	組合	白沢土地区画整理事業(13.0ha) 卯坂中部土地区画整理事業(6.0ha)

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

白沢土地区画整理事業については、意見交換会を開催し、アンケート調査を実施する。卯坂中部土地区画整理事業については、多面的な調査・検討を行っている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

白沢土地区画整理事業については、地権者に意向調査を実施。卯坂中部土地区画整理事業については、多面的な調査・検討を継続している。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

地権者の理解と同意が必要であり、気運の高まりが見受けられない。市街化区域の低未利用地の解消のため、対応方針の取り決め、書類・現地調査を実施し、暫定用途土地利用方針を作成し、地権者説明及び最終調整等を経て、令和7年度までの解消を目指すこととなるが、財政的人員的に課題も多い。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第2節 市街地整備

### (2) 中心市街地の整備(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

阿久比駅、役場周辺を拠点とする中心市街地の形成を図るため、幹線道路周辺の整備を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 中心市街地整備事業	町・組合	中心市街地・幹線道路周辺整備の促進

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

阿久比駅、役場周辺を拠点とする中心市街地の形成を図るため、名鉄阿久比駅バリアフリー化事業にあわせ駅前駐輪場を整備した。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

幹線道路周辺の整備の推進に対しては、土地区画整理事業等を推進することが望まれるが、地権者の理解と同意が必要であり、新たな取組み等は行われていない。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

本町の市街地は、既存の集落を中心に拡大した市街地と民間による宅地開発に伴う市街地からなっているため、市街化区域の設定が飛び地となっており、連続性が欠如している。市街地を結ぶ幹線道路周辺の整備には、地権者の理解と同意が必要である。町の玄関口として相応しい駅前整備をし、駅利用者の利便性を高める施設整備等とともに、利用者のマナー向上を図るため、啓発等に努める必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第2節 市街地整備

### (3) 地区計画の設定(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

地域の意向が盛り込まれた地区計画などを設定し、道路・公園などの都市基盤を充実させ、地区の特性を生かした住宅地の形成を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 地区計画の設定	町	地域の特性を生かした都市基盤の充実

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

地区計画の都市計画決定には、地権者の理解と同意が必要であり、町として計画策定については、調査・検討を行っている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

地区計画の都市計画決定には、地権者の理解と同意が必要であり、町として計画策定については、引き続き調査・検討を行っている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

人員的財政的に厳しい中、地権者の要望等もないため、地区計画の策定には至っていないが、市街化区域内の低未利用地の解消に向け、地区計画の策定について検討する必要がある。市街地の面積が乏しいなか、財政的に安定を図るために、将来フレームを考慮しつつ、市街化調整区域における住居系及び工業系の開発許可の前提となる地区計画を定め、無秩序な開発を誘発することがないように、調査・検討をする必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第2節 市街地整備

### (4) 既成市街地の整備(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

既成市街地では、各地区の特性を生かした良好なまちづくりの形成を図るため、面的な整備方針を踏まえた道路拡張などの整備を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 既設市街地整備事業	町	良好なまちづくりの推進

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

既成市街地の排水路を有蓋化に取組み、道路幅員の確保に努めている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

既成市街地内の道路改良工事や排水路取替事業の実施、狭あい道路のセットバック用地の協力など、生活道路の整備等に努めている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

既成市街地内の空家の増加など、課題も多い。所有者と新たな居住者とのマッチングを図り、空家の利活用の促進を図るために、民間業者等との連携を図り、既成市街地の空洞化を抑制する取組みを推進する必要があるとともに、既成市街地の道路、公園などの基盤整備を進め、生活環境の整備、防災面での向上を図る必要があるが、地域の協力無くしては、事業の進展は図れない。

道路整備を行うにあたり、土木系業者が減少しており工事が計画どおり行えない恐れがある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第2節 市街地整備

### (5) 都市景観の充実(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

景観に配慮した公共施設の整備や屋外広告物の規制などを進め、暮らしやすくおいしいのあるまちづくりを推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 都市景観整備事業	町	市街地整備に基づく景観整備の推進

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

愛知県屋外広告物条例に従い、規制や許可を行っている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

愛知県屋外広告物条例に従い、規制や許可を行っている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

景観に配慮した公共施設の整備や屋外広告物の規制などを進め、暮らしやすく、おいしいのあるまちづくりを推進するためにも、景観計画に基づき法的な実効性を持たせることも重要と言える。建築物や工作物、木竹の伐採や野外における堆積等の大規模行為など、周辺の景観に影響を及ぼす恐れのある行為を抑制することが期待されるが、人力的財政的に負担が大きい。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第2節 市街地整備

### (6) 駐車場等の整備(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

利用者の利便性を向上し、町の玄関口としてふさわしい上質な環境を作り出すための駅前整備を、関係者の協力のもと推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 駐車場の整備事業	町	駐車場等の誘導・整備

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

阿久比駅前広場は、送迎用の車両であふれることもあり、対策について調査検討している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

阿久比駅前広場は、新たな住宅開発や平成20年に名鉄阿久比駅が特急停車駅になり、近隣からの利用者の増加により送迎用の車両であふれることもあるため、引き続き、調査検討をしている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

送迎用の車両により、混雑を要する時間帯があるが、違法駐車等は見受けられない。民間駐車場が駅周辺に設置されており、当面、駐車場が不足することはないと思われる。駅へのアクセスに関しては東側からのルートも含め、検討が必要であるが、土地利用に課題も多い。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第3節 道路・交通網

### (1) 都市計画道路の整備(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

都市計画道路草木岩滑線、植大駅前線の未施工区間については、存続や位置変更を含め、住民との意見交換を行いながら推進します。また、名古屋半田線、環状線、矢高横川線については、早期完成を県に要望します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 都市計画道路整備事業	県・町	未着手区間の早期事業化

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

名古屋半田線、環状線など早期事業化に向けて愛知県に対して要望している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

都市計画決定された、7路線の整備状況は約60%である。名古屋半田線、矢高横川線、環状線など早期事業化に向けて愛知県に対して要望している。宮津土地改良事業の進捗に伴い、都市計画道路矢高横川線の線形等の変更に伴う都市計画決定の変更について、関係機関と協議を行っている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

広域的な社会状況の変化に応じ、周辺市町と連携した道路ネットワークの充実を図るため、必要性・現実性に即した対応が求められる。事業進捗に際し、財政的に負担が大きく、用地交渉など地権者の理解と同意が必要である。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第3節 道路・交通網

### (2)生活道路の整備(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

道路改良事業や道路排水事業の実施、狭あい道路のセットバック用地の協力などにより、生活道路を整備します。また、退避場所等の確保に努めます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 生活道路整備事業	町	狭あい道路の拡幅整備 道路拡幅用地の取得 安全、安心な道路の維持管理

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

狭あい道路のセットバック用地や道路拡幅用地の取得により生活道路の安全性を確保している。また、大字、自治会と協力して維持管理を実施している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

引き続き、狭あい道路のセットバック用地や道路拡幅用地の取得により生活道路の安全性を確保している。また、大字、自治会と協力して維持管理を実施している。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

生活道路の拡幅整備をすすめることにより、日常生活はもとより緊急時にも対応した安全、快適、災害に強いまちづくりにつながるため、地権者、大字、自治会の理解と協力が必要である。

現状の老朽化対策が急務となっており、新たに道路等の整備を行うことが難しい。また、土木業界の縮小により施工業者の確保が難しくなっている。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

# 第1章 第3節 道路・交通網

## (3) 橋梁の整備(建設環境課)

### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

橋梁点検の結果を踏まえ、修繕計画を作成し、橋梁の耐震化・長寿命化に向けた取り組みを実施します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 橋梁整備事業	町	橋梁の定期点検の実施 橋梁(橋長15m以上の18橋)の耐震化・長寿命化事業

### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

橋長2m以上の橋梁に範囲を広げて定期点検を実施し、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。また、事業費の平準化を図りつつ、重要度により橋梁の耐震化、長寿命化修繕工事を実施している。

### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

平成30年度にて法定点検である近接点検の1回目が完了し、令和元年に橋梁長寿命修繕計画の見直しを行った。旧計画による長寿命化修繕も順次実施している。

### ②第6次総合計画に向けた残された課題

緊急性のある橋梁の補修はないが、長寿命化のために修繕を行う橋梁が多くあり、長寿命化計画に沿って修繕するには多額の予算が必要となる。また、法定点検を5年に1度行う必要があり、どこまで直営で点検を行えるかにより掛かる費用も変わってくる。

### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第3節 道路・交通網

### (4)循環バスの運行(防災交通課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

住民の身近な移動手段を確保するため、循環バスの運行を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 循環バス事業	町	町内循環バスの運行

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

多くの町民からの要望を受け、平成23年10月から循環バスの試行運行を開始した。平成24年度には68,942人、平成25年度には81,785人と利用者は増え続け、平成26年10月からは本格運行に移行している。平成26年度の利用者数は82,216人となり、幅広い世代に愛される町民の生活の足として、循環バス「アグッピー号」は町民の生活になくてはならないものとなっている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

乗客数は平成28年度は84,060人、29年度は85,396人、30年度は81,549人である。平成29年10月のダイヤ改正に伴い、住民の要望に応えバス路線の延伸を行ったが、その結果便数の減などもあり、翌年度は乗客数が5%ほど減少した。一方で乗りこぼしの解消には至っていない。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

主に高齢者等の交通弱者の生活の足として利用されている循環バスであるが、便数の増加やさらなる延伸を求める住民の声が多く寄せられている。また高齢化に伴い需要はますます大きくなることが予想される。これに応えるには多額の費用が必要となるが、町の財政状況を考えるとかなり困難である。しかしながら少しでも要望や需要に応えられるよう、現状のバスのダイヤ改正等による効率化をはじめ、増車増便や新しい形態の公共交通についてなどの研究をし、対応していく必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第3節 道路・交通網

### (5) 公共交通機関の利便性向上(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

誰もが使いやすい駅を目指して、鉄道事業者と連携を図り阿久比駅のバリアフリー化を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 公共交通機関のバリアフリー化	町・民間	阿久比駅のバリアフリー化の推進

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成27年度にホームの段差解消、エレベーターの設置や多機能トイレ設置などを実施し、阿久比駅のバリアフリー化事業は完了した。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

現在、新たな取り組み等はない。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

誰もが使いやすい駅として、引き続き、鉄道事業者を始め関係機関と連携し、駅の利用者の利便性を高める必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第4節 河川・水路・ため池

### (1)河川・水路・ため池の整備(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

水害などを未然に防ぐため、関係機関と連携し、河川・水路・ため池の整備を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 河川・水路・ため池整備事業	県・町	河川・水路・ため池の整備・維持・保全

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

河川、水路、調整池の維持、水害防止のため、浚渫を実施している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

河川、水路、調整池の状況を確認し、必要に応じて浚渫や除草を実施している。  
水害対策として重要な除塵機の更新を、県に要望することにより令和元年度までに実施して頂けた。  
ため池は県により耐震改修の設計委託が発注され、今後工事が施工されていくこととなった。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

阿久比川・十ヶ川の河川整備計画が平成26年度に策定されているが、現在は半田市側の堤防の耐震改修や津波対策が重点となっているため、町内の河川拡幅には時間を要すると思われる。  
近年の局地的な短時間の大雨には既設の施設では対応が難しくなっている。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第4節 河川・水路・ため池

### (2)多自然川づくりの推進(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

河川改修にあたっては、生物の多様性と自然環境の保全に配慮した多自然川づくりの実施を関係機関に働きかけていきます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 多自然川づくり事業	県・町	自然環境に配慮した河川環境整備

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

多自然川整備の実施を愛知県に対して要望している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

多自然川整備の実施を愛知県に対して要望している。また、災害等で被災した護岸については多自然型の材料を使用し環境の保全に寄与している。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

阿久比川・十ヶ川の河川整備計画が平成26年度に策定されているが、現在は半田市側の堤防の耐震改修や津波対策が重点となっているため、多自然川の整備には時間を要する。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第4節 河川・水路・ため池

### (3)親水空間の整備(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

自然とふれあうことのできる貴重な水辺空間として河川堤防・ため池の環境整備を図り自然環境の保全意識の高揚を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 親水空間整備事業	県・町	河川堤、ため池の水辺空間の保全

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

親水空間整備として整備した河川、ため池の維持・保全を図るとともに、矢勝川において親水性、自然環境の向上を図る水辺空間の環境整備事業を実施している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

親水空間整備として整備した河川、ため池の維持・保全を図るとともに、矢勝川において飛び石を設置し親しみやすい水辺環境の整備を実施している。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

近年の局地的な短時間の大雨により水辺に近づくことに危険が生じる可能性が出てきているため、安全対策を講ずる必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第4節 河川・水路・ため池

### (4) 監視体制の強化(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

浸水被害対策として、監視カメラを設置して河川の水位及び除塵機の状態を常時監視できる体制の整備を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 河川監視体制整備事業	県・町	監視カメラにより河川・除塵機の監視体制の整備

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

監視カメラにより河川の水位・除塵機に漂着する漂流物の堆積状況を常時監視する体制となっている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

河川監視カメラを2箇所を設置し、除塵機と同様に浸水対策に役立てている。また、河川監視カメラの映像はホームページにも掲載しているため、一般住民の避難判断にも繋がる。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

現在は、主要な河川に1基ずつ設置することを計画しているが、今後台数を増やしていくかが課題となる。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

# 第1章 第5節 公園・緑地

## (1)公園の整備と管理体制の充実(建設環境課)

### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

住民の憩いの場、子ども達が安全に遊べる場、災害時の避難場所としての公園などの整備を市街地整備事業に合わせて計画的に推進します。また、安全性の確保と利用率の向上に向け、既存公園施設・設備の点検及び改修を計画的に推進するほか、公園・緑地の管理体制の充実を図り、有効活用に努めます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 公園整備事業 2. 公園管理事業	町	1. 公園用地の確保と整備 1. 適正な公園の配置 2. 公園施設の維持管理

### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

土地区画整理事業により公園を整備し、既存公園の維持管理として施設や設備の点検及び改修を計画的に実施している。

### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

民間開発等により新たな公園が整備された。既存公園の維持管理として施設や設備の点検及び改修を計画的に実施している。

### ②第6次総合計画に向けた残された課題

公園の整備状況を見ると、1人当たりの都市公園面積は、約2.3㎡と国の定める目標面積の10㎡に遠く及ばない。都市計画決定された、都市公園以外のその他公園も含めると、約3.0㎡となっている。今後は、施設等の老朽化による更新費の負担の増加が予想される。公園施設等の長寿命化を策定し、より効率的な施設更新を行っていく必要がある。町民の憩いの場として、子ども達が安全に遊べる場として、災害時の避難場所として、役割は大きい。既存市街地での身近な公園整備が進んでいない現状があり、地域間のバランスがとれた配置も課題である。

### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

# 第1章 第5節 公園・緑地

## (2) 緑地の保全(建設環境課)

### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

地域の景観形成に重要な役割を果たす田園風景や寺社林など、緑地の保全に努めます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 緑地保全整備事業	町	緑の基本計画(緑のマスタープラン)の見直し・充実 緑地の保全と確保

### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

緑の基本計画については、平成 32 年度の見直しを計画している。また、大規模な宅地開発事業など、地区境界付近では地区外との状況にあわせて緑地等を確保している。

### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

緑の基本計画については、改定に向けて、現在、策定委員会等を開催し、見直し中である。また、大規模な宅地開発事業など、地区境界付近では地区外との状況にあわせて緑地等を確保している。

### ②第6次総合計画に向けた残された課題

市街化の進展に伴い減少傾向にある都市の骨格となる緑地(河川、田園、丘陵地等)の保全に努めるとともに、今後も、開発行為に対し緑地の確保・回復に努め、無秩序な土地利用を抑制し、快適な生活環境を支える緑地等を維持、保全する必要がある。無秩序な開発を抑制するためにも、新たな取組みが必要であるが、地権者の理解と同意が必要であり気運の高まりが見受けられない。

### ③第6次総合計画における今後の方向性

### ③現状維持

### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

# 第1章 第5節 公園・緑地

## (2) 緑地の保全(産業観光課)

### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

地域の景観形成に重要な役割を果たす田園風景や寺社林など、緑地の保全に努めます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 緑地保全整備事業	町	緑の基本計画(緑のマスタープラン)の見直し・充実 緑地の保全と確保

### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

草木地区において、平成24年度に里山の持つ水源のかん養と生物多様性の保全など公益的機能を守るため、あいち森と緑づくり事業の里山林健全整備事業が採択されたことを受け、3,640㎡の竹の伐採を行った。平成25年度からは地域住民等との協働による保全活用を前提とした計画に基づく提案型里山林整備事業により15,390㎡の竹の伐採を行い、平成26年度には階段などの管理歩道の整備と10,906.42㎡の下刈工などを実施した。整備後は地域住民が主体となり、里山の保全活動を行っている。

### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

草木地区においては、引き続き、保全活動が行われている。

### ②第6次総合計画に向けた残された課題

里山林健全整備事業においては、20年間適切に維持管理されることが条件であり、長年にわたり、地権者は他の用途に転用等ができない土地利用の規制がある。将来に渡って地権者の十分な理解が必要である。

### ③第6次総合計画における今後の方向性

### ③現状維持

### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第5節 公園・緑地

### (3) 緑道の整備(建設環境課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

町内のみどりの森である寺社や河川堤を活用するなど、田園を散策できる緑道やサイクリングロードの整備を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 緑道整備事業	町	散策路とあわせた緑道の整備

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

各施設・地域資源・文化財を巡る散策路6コースが定められている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

各施設・地域資源・文化財を巡る散策路6コースが定められている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

既に散策路が策定されてから時間が経過しているため、現在の地域資源を維持しつつ、新たなまちづくりに併せたコース等の見直しを検討する必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第5節 公園・緑地

### (3) 緑道の整備(産業観光課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

町内のみどりの森である寺社や河川堤を活用するなど、田園を散策できる緑道やサイクリングロードの整備を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 緑道整備事業	町	散策路とあわせた緑道の整備

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成26年度に草木地区で、あいち森と緑づくり事業による提案型里山林整備事業の採択を受け、階段などの管理歩道を設置した。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

事業の実施はない。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

⑦休止

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第5節 公園・緑地

### (4) 緑化運動の展開(産業観光課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

学校をはじめとする公共施設の緑化を推進するとともに、住民の意識啓発を行いながら、地域住民や各種団体、行政などが一体となった緑化運動、花づくり運動を展開し、花とみどりがあふれるまちづくりを推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
		緑化運動、花づくり運動を展開し、花とみどりがあふれるまちづくりを推進

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成24年度に町立ふれあいの森にて、イヌマキ等の高木など約70本を植栽したほか、平成25年度、平成26年度には町立英比保育園にイヌマキ等の高木などを植栽し、公共施設等の緑化を推進するための植栽工事を行っている。今後も緑の羽根の募金、産業まつりでの緑化木配付等、住民の意識啓発を行いながら、花とみどりがあふれるまちづくりを推進していく。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

平成29年度に愛知県植樹祭事業として、役場敷地内に植栽を実施した。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

公共施設における植栽は、施設管理者による植栽後の維持管理の負担増(予算削減の観点)や、景観、ゾーニングを軽視した植栽計画が懸念され、事業が行われていない。一方で殿越川沿いの藤棚整備を始めているので、緑化事業は「緑の基本計画」を所管する都市計画に統合し、調和のとれた街づくりを推進する。

各種団体の構成員の高齢化により、ボランティア活動が衰え始めてきており、次世代への継承が課題である。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ⑤事業主体変更

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第6節 上水道

### (1) 配水場の整備(上下水道課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

東部地域における土地区画整理事業による人口増に対応するとともに、緊急時の飲料水を確保するため、第3供給点の整備を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 配水場整備事業	町	第3供給点の建設

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成 25 年度に第3供給点(高根配水場)タンク1基の建設を完了し、平成 26 年度から通水を開始した。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

引き続き、通水を行っており、人口増に対応するとともに緊急時の飲料水確保に努めている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

八ヶ谷配水場(第1供給点)及び草木配水場(第2供給点)については耐震性が不足しているため、工業団地や商業施設の計画を考慮して、本町全域で給水区域の見直しを検討し、配水場の耐震化工事の費用や施設の維持管理性、施工性等を考慮して施設の耐震化を検討する必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第6節 上水道

### (2)計画的な水道施設の整備(上下水道課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

水道事業における中長期的な構想に基づく「水道ビジョン計画」を策定し、施設の老朽化への対応や災害に強い水道づくり、水質の保全などを見据え、老朽化した配水管や配水場の更新、耐震化、水圧の低い区域の改良など水道施設の整備を計画的に進めます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 低圧区域改良事業 2. 上水道施設改良事業	町	1. 水圧の低い区域における増圧施設の整備 2. 配水管等施設の耐震化 2. 老朽設備の更新

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成 25 年度に東部地区に増圧ポンプ場を建設し、水圧の低い地域への通水を開始した。配水管の新設・布設替えにあたっては、ダクタイル鋳鉄管等の耐震管を使用してきた。今後とも耐震管への切り替えを進める。  
老朽化した水道設備については、過去の漏水箇所や水圧等を加味し計画的に更新を図ってきた。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

令和元年7月に水道ビジョンを策定し、配水管の新設・布設替えにあたっては、ダクタイル鋳鉄管等の耐震管を使用してきた。今後とも耐震管への切り替えを進める。  
老朽化した水道設備については、過去の漏水箇所や水圧等を加味し計画的に更新を図ってきた。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

八ヶ谷配水場(第1供給点)及び草木配水場(第2供給点)については耐震性が不足しているため、高根配水場(第3供給点)の財産処分の制限期間の経過後、本町全域で給水区域の見直しを検討し、配水場の耐震化工事の費用や施設の維持管理性、施工性等を考慮して施設の耐震化を検討する必要がある。  
布設及び建設年度の関係から法定耐用年数を超える水道設備が増加することが予想されるため、適正な維持管理による水道設備の長寿命化や重要度の高い施設から優先的に更新事業を実施することにより、更新費用の抑制及び平準化を図る必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第1章 第6節 上水道

### (3)水道事業の健全経営(上下水道課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

事務の合理化、効率化や経費の節減を図るとともに、有収率の向上による供給単価の低減、業務の外部委託の検討など水道事業の健全運営に努めます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 事業運営の健全化	町	水道ビジョン計画の策定 管路調査事業による漏水箇所の発見・修繕

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

水道ビジョン計画については、配水場・管路の現状の把握に努める必要がある。  
そのため、平成27年度に八ヶ谷配水場・草木配水場の耐震診断を実施する。管路については、平成28年度にGISに対応したマッピングシステムの整備を進め平成29年度稼働を目指す。その後、これら精度の高いデータをもとに水道ビジョン計画の策定をする。  
中央監視装置(テレメーター)の活用及び路面音聴調査・流量測定調査を業者に業務委託し、漏水の早期発見・修繕に努めてきた。今後とも漏水の早期発見・修繕に努めていく。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

水道ビジョンは令和元年7月に策定済み。  
八ヶ谷配水場及び草木配水場の耐震診断は平成27年度に実施済み。  
マッピングシステムは平成29年度に導入済み。  
中央監視装置(テレメーター)の活用及び路面音聴調査・流量測定調査を業者に業務委託し、漏水の早期発見・修繕に努めてきた。今後とも漏水の早期発見・修繕に努めていく。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

布設及び建設年度の関係から法定耐用年数を超える水道設備が増加することが予想されるため、漏水の早期発見・修繕の必要性は一層高くなる。適正な維持管理による水道設備の長寿命化で更新費用の抑制及び漏水予防を図る必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)